



No. 2742
2017年12月20日
発行責任者 五十嵐 敬
編集責任者 武田 昌仙

超低額回答に怒りと落胆 赤字の補てんもできない一時金

再回答を求め抗議行動

地方本部は貨物会社の17年度年末手当の支払いで、基準内賃金の1・64ヶ月分という低額回答に対し、再回答を求める抗議行動等を宮城・福島両県で開催した。

再回答を求め抗議行動

本部闘争指示第25号を受け、仙台地本は11月14日、貨物東北支社に対し、東北協議会として「再回答」を求める申し入れを行った。申入れの席上、組合側は貨物組合員の切実な生活実態や低賃金ゆえに希望が持てず職場を去る若者が続いている等の実態を述べ、低額回答を撤回し再検討・再回答を要請したが、貨物東北支社は「要請の内容は本社に伝える」と回答するにとどまった。



経過報告する木元事務長

各地区集会概況

8回の要請書送付

11月21日、郡工支部は、総合車両センター正門前で抗議集会を開催した。集会は、郡工支部阿部副委員長の司会で始まり、同支部橋本委員長があいさつ。その後各分会から決意表明がされ、貨物分会を代表し天野書記長は、この間現

客貨一体で闘う決意を確認

11月22日、宮城野貨物門前で開催された集会には、宮城県支部と仙総支部の組合員62人が参加。佐藤執行委員の司会で開会し、地本千葉執行委員があいさつ。

- 10・2 地本ゴルフ大会
- 10・13 第一回地方執行委員会
- 10・19 本社交渉（エルダー制度）
- 10・31 各地方業長・東日本職協議長会議
- 11・4 各地方・地区本部組織部長会議
- 11・7 第二回地方執行委員会
- 11・11 第22回東日本マラソン大会
- 11・19 国労東北定期総会・東北労働講座
- 11・21・24 貨物年末手当抗議集会（宮城・福島）
- 11・22 各地方委員長・書記長会議

- 11・25・26 第5回国労フクシマ交流・視察学習会
- 11・30 本社経協
- 12・3 東北貨物協議会定期委員会
- 12・3 地本家族会総会
- 12・7 第三回地方執行委員会・支部代表者会議
- 12・7 労働講座・激励会
- 12・11 第一回春闘事務局会議
- 12・13 仙台運輸協議会定期委員会
- 12・16 東日本工務協議会定期委員会
- 12・16 地本安全問題プロジェクト・業務部長会議

福島県支部

郡山分連協事務所で行われた福島県支部集会では、貨物福島三浦分会長が、分会自ら行ってきた年末手当満額獲得の取組みの経過を述べた後、「JR貨物発足30年と社員へ報いるとして0・04ヶ月を増額したというが、我々を馬鹿にしている。0・5ヶ月でも低い。全く頭にくる」とし、「最高益を出しても会社は社員に還元する気がないことが明らかになった。ただ出させることが出来ない歯がゆさ、力のなさを痛感している。地道にこれからも仲間とともに頑張る」とあきらめず闘う決意を述べた。

進まぬ復興と減らぬ線量 戻れないゴーストタウン

国労本部主催による、第5回フクシマ交流・視察学習会が11月25日、26日に開催され、25日は全国から参加した視察団40人が現地視察を行い、翌日は交流学習会と現地集会在郡山ホテルプリシードで開催され、現地集會には、仙台地本と水戸地本から約120人が参加した。

路復旧工事はしていませんでした。次に富岡駅周辺の視察に向かいましたが、途中の6号線では、道路上にある空間線量は3μSvを超えていた箇所もありました。また、除染のできない山の近くをバスが走行したときは、バス内での線量計が鳴りっぱなしで7〜9μSvに到達していました。まさにゴーストタウンです。まだまだ住民が戻ることができない、あるいは、若い人が戻れない状態であるということが参加者全員の声として感想がありました。

一方で富岡駅は、10月21日に竜田〜富岡間が運転再開され大変様変わりがありました。昨年訪れた際には何もありませんでしたが、少しづつ住宅も建設され、人が住める環境に整備されてきていました。

現地視察概況報告

初日の現地視察では、福島駅に集合し、バスにて浪江駅に向かいました。浪江駅に設置している空間線量率は0・36マイクロシーベルト（以下μSv）であり、そこで勤務をしている方は本当に大丈夫かと不安に思いました。浪江駅からは、夜ノ森駅付近の線路の復旧工事状態を見学しに行きましたが、土曜日ということもあり線

現地集會の様子

現地視察を通じて、東日本大震災から6年8ヶ月が経過しても進まぬ復興と運転再開を目指す常磐線での被爆労働の問題など、幾つもの問題が内在していることが明らかになりました。

東北三地本が学習と交流

11月19日、第14回東北労働講座が盛岡市内「国労会館」で開催された。講座は二部構成で、労働講座としては、国労弁護団の福田護弁護士より「鉄道の業務外注化と安全問題」について講演を受けた。



提起する本部菊池委員長

また第二部は「平成採用組合員交流会」として

組織拡大に向けた取組みの位置付けで集会が行われ、本部や東日本本部から、それぞれの取組みと課題等の問題提起がされた。

続いて各地方から組織拡大に向けた職場活動報告が行われた。最後に平成採用者からは、青年二人と女性一人からそれぞれの近況報告と拡大に向けた決意の一端が述べられた。

なお、同日には第32回東北協議会定期総会も行われ、経過や活動方針、決算及び予算について議論が行われ、満場一致で承認がされた。

○東北協議会新役員

- | | |
|-----|-----------|
| 議長 | 佐藤浩一 |
| 副議長 | 沢田光広 |
| 幹事 | 五十嵐敬 |
| | (盛岡地本委員長) |
| | 高橋英樹 |
| | (仙台地本委員長) |
| | 菊池要悦 |
| | (盛岡地本書記長) |
| | 原子清貴 |
| | (仙台地本書記長) |
| | 高橋毅 |
| | (東北貨物協議長) |

新たな仲間と繋ぐ

11月11日、皇居外周を利用した第23回国労東日本本部駅伝大会が開催された。当日は薄曇りとランナーにとってはまずまずのコンディション。今年の仙台地本のエントリーは、山形県支部チームが事情により出場を断念したため仙総支部のAチームのみ。

少数精鋭選抜による上位進出を目指すところであったが、昨年難病か



第5走者原田とアンカー大知里

ら奇跡の復活を遂げたチームの大黒柱でもあるキャプテン高橋真人が欠場となってしまった。しかしその理由は長年にわたり児童生徒に対する健全育成に尽力(スキー指導等)したことに対する岩手県花巻市PTA連合会からの表彰式出席でやむを得ない、というか大変素晴らしいこと!

更に寡黙な闘魂ランナー佐藤勝成が背中を痛めてリハビリ中となれば、危機の状態である。その理由は自宅屋根のペンキ塗装の際、梯子から転落。一歩間違えば大惨事。危なかった!

ある意味チームとしてのエントリーすら危ぶまれたが、まとめ役であるマネージャー山口の努力の甲斐あって、何とか出場にこぎつけた。

結果は善戦及ばず入賞には届かなかったが、故原田靖の長男尚人が今年も助太刀参戦し、また今回は若い新たな仲間も加わり、来年に希望の襷を繋ぐことができたようだ。

来年こそ皆で勝利の祝杯を挙げよう。(敬称略) 【昌】

立ち上がるのは今

▼国労弁護団を中心にまとめた、「鉄道の安全問題と外注化」という冊子がある。その中に、今年2月の衆院予算委員会での麻生副総理兼総務相の答弁が記載されている。

▼JR北海道の問題についての質疑でこう答弁している。「国鉄を7分割して黒字になるか。なるのは3つで、あとはならないと当時からみんな言っていた。鉄道関係者なら例外なく思っていた」「自分は当時力がなかったので、今だつたら止められたかも知れない」とも。

▼何を今更と嘸然とするが、「黒字にしようとするためにメンテナンスで経費を削減すると結果として安全が落ちるのですごく大事。JR北海道をどうする」という話は、根本的なところを触らずしてやるのは無理がある」と答弁し、分割民営施策の失敗を現役の国務大臣が認めていると記載されていた。

▼麻生大臣に「黒字にならない」と言われたJR貨物会社は、7期連続の黒字、鉄道部門も黒字化を達成したにも関わらず、今年度も年末手当は「超」低額回答だ。この間我々



は、「構造矛盾の解消を図れ」と主張してきたが、そもそも「とっかかりから間違っている」ということをこの答弁は証明している。そしてその「間違い」のツケを三島会社と貨物の労働者が支払っているという構図である。

▼問題があるのは貨物と三島会社だけではない。旅客会社では、時を待たずして再発している大規模輸送障害、その下に隠れた中小の輸送障害や労働災害、表沙汰にならない未遂事故は毎日のように発生している。

▼JR東日本が発足した87年の現業社員数は5万9千8百人であったが、16年には3万3千500人へと削減(56%)された。

▼貫徹された、「外注化」という名の合理化施策がその下に横たわっていることを「理解していない・分からない」社員がこの会社の大半を占めつつある。

▼同時に、自分も含め「担務」という名の仕事に忙殺され、疲弊した現場の社員が悲鳴を上げている。

▼もう限界だ。立ち上がるのは今。こぶしを突き上げるのは今。 【昌】

退職のお知らせ

9月30日付

- 保志 正義さん (仙台駅連(退職))
- 高橋 道雄さん (小牛田駅連)
- (Livitt鹿島台)
- 福田 一成さん (仙総車体)
- (JRTM)
- 佐々木 芳則さん (小牛田運輸区)
- (テクノ/小牛田)
- 遠藤 義春さん (貨物福島(嘱託))
- 佐藤 孝雄さん (仙台信通区)
- (日本電設)
- 遠藤 順一さん (仙総運転)
- (JRTM)
- 山田 芳夫さん (岩沼駅連)
- (Livitt山下)

異動のお知らせ

10月1日付(出向)

- 安達 祐治さん (Livitt仙台)
- 村上 正博さん (Livitt南仙台)
- 佐藤 文明 (Livitt南仙台)
- 小室 洋さん (Livitt南仙台)
- 高木 文男さん (Livitt喜多方)

11月1日付(出向)

- 折笠 稔さん (仙台建築技セ)
- ビルテック郡山